

ケアホームさくら荘 家庭のめくもいそのまに・・



午後の
Tea Time

日中は暖かく過ごしやすいなってきました。こんな日は、外に出て、のんびりとティータイム。金木犀の花の香りが庭一面に漂い、秋の気配を感じながらゆっくりとした時間を過ごしました。



誕生会

今月の誕生会は、「パイア・マンゴークラブ」の皆さんに来て頂きました。昔懐かしい色々な歌を唄って下さいました。懐かしい歌に手拍子しながら一緒に唄う方や、昔を思い出し涙する方など、皆さんそれぞれに楽しまれました。



社長による職員紹介

今年9月に入社したばかりの笑顔輝く新人さん、馬原佳子さんの紹介です。高校卒業後、お姉さんの影響もあり介護の世界に飛び込んだ。正直、介護は3K(汚い、きつい、危険)と言われており不安が大きかったが、イメージしていたより全然楽しいと思うことが多く、いい意味でギャップがあったという。丁寧に仕事をこなすことと利用者様の笑顔を引き出すために、まずは自分が仕事を楽しみ、常に笑顔でいることをモットーとして仕事に取り組んでいる。そんな彼女の休日は、友達と県内のパンケーキ屋さん巡ることが最近のブームらしい。今後は、まずは一人前になれるよう、細かな仕事まで覚え、自ら考えて行動に移せるように成長したい！！そして、周りにいてくれる人に日々感謝し、大切にすることを続けたい。さらに、自分が理想とする素敵な介護士になれるよう、明るく楽しみながら頑張りますと話す。少し天然キャラな彼女だが、自分の目標や将来像をしっかりと描けており、その爽やかな笑顔には真のやさしさと強さを感じる！！今後の彼女に乞うご期待！！

馬原佳子さん



社是 「利他の心」



2018年
11月号

家族懇談会(導入予定の介護レクについて)

11月10日(土)に予定しています家族懇談会で説明予定の「大人の学校」についてどういったものか、懇談会の時間だけではどうしても時間が足りないと思いますので先に簡単に説明をさせていただきます。

「おとなの学校って何？」

「おとなの学校」は、その名の通り“学校”です。スタッフが先生、利用者様が生徒になり、教科書を用いて 1回30分の授業を行います。

「おとなの学校」とは、授業形式のアクティビティです。

「なぜ、始めたいと思ったの？」

以前から「おとなの学校」が気になっていた私たちは、実際に模擬授業を受けに行きました。そこで感じたことは、「楽しい」の一言でした。「おとなの学校」の授業は、「やらされている」ではなく、「やりたくなる」授業です。その授業により、利用者様の認知機能が刺激され、生活全般に対して意欲的になります。

利用者様が「意欲的」になります。

「利用者様にとってのメリットは？」

国語や算数、体育などの「授業」を受けることで、「機能訓練」や「脳リハビリ」を受けることになります。今現在、「おとなの学校」を取り入れている他の施設では、「夜間の起床や徘徊の問題行動が激減した」「こんなにイキイキとした姿は見たことがない」「これまで話をしなかった方が、活発に話すようになった」「食事以外は寝ていた方が、「楽しい」と言うようになり、見違えるほど元気になった」などの声が聞かれています。

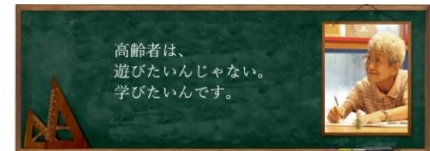
利用者様が楽しみながら「機能訓練」「脳リハビリ」を受け、元気になります。



※「おとなの学校」のご利用は「任意」です。
利用される方は、毎月1,500円(教材費)の費用がかかります。

それでは、家族懇談会を楽しみにお待ちしております。

大人の学校ホームページ



有限会社 聖

住宅型有料老人ホーム ケアタウン飛鳥
住宅型有料老人ホーム ケアホームさくら荘
デイサービス陽だまり (通所介護)
訪問看護ステーション翔 (訪問看護)
ケアサポートセンターひじり (居宅介護)
ケアセンターさくら (訪問介護)

ケアセンターさくら便り

毎年、施設内に加湿器を置いていますが、今年は11月開始の予定でしたがもう稼働しています。季節関係なく感染性の病気が流行する昨今ですが、やはりこの時期は特に用心してしまいます。空気が乾燥して来ています。職員もそうですが、ご家族の方も自己管理を行って桜の季節まで乗り切りましょう。

お洒落なシティ感覚 ケアタウン飛鳥

飛鳥の壁飾り

第1弾

飛鳥では、ご利用者とご一緒に、壁の飾りを作成しております。真っ白な壁に次々と、いろんな魚が泳ごうとしています。今は、魚の絵柄を切る作業です。皆様、一生懸命に取り組んでいただいております。出来上がりまでには、まだ時間がかかりますが、ご利用者とスタッフで協力していきます。是非、楽しみにして下さい。

食べれる魚かな？

やっぱり赤い魚！

こう切れば
いいかな～

どんな壁に
なるかな～

切るのは難
しいね

この魚がい
いなあ～

訪問看護ステーション翔からのお知らせ

介護保険便りにも紹介されています「私の思いをつなぐノート」の必要性についてもう少し紹介したいと思います。自分に何かあった時、延命治療を行うような状況の時自分がどこまでの事をしてもらいたいかなという意思確認は出来ない状況にあると思います。家族の心情として延命を考えるとと思います。一度延命治療(呼吸器など)を行ってしまうと家族がその治療を必要でないと判断してもそれをやめる事は命に関わる事なの出来ないようです。自分の家族、自分がそういう状況になった時、どんな状況でも生きて欲しいと思う反面、本人の事を考えるとこれでいいのかな…と色々な思いが出てくると思います。本人が元気な内にどこまでの事を望んでいるかを知る事により、対応する家族も悩んで迷ったりすることなく本人の意思の尊重が出来ます。実際会話だけでは無効みたいなので、ノートなどに本人の直筆で記入してもらおう事が大切なんです。私も勝手に先の話しだと思っているのですが、親が元気な内に書いてもらわねばと思っているところです。興味がある方は聖のスタッフの中にもエンディングノートアドバイザーがいますので声をかけてください。

ドライブ

清武運動公園に行ってきました。天気も良く、爽やかな風に吹かれて、みなさん、自然と笑顔がこぼれました。

空気が良くて、気持ちいいね♪

外で飲むと
美味しいね

あっちの方
行ってみよう

魚釣りゲーム！！

釣り糸の先に磁石を付けて、魚を釣り上げます。集中力と手先の動きがカギとなります。スタッフでも中々難しいゲームですが、みなさん、上手に魚を釣り上げておられました。

大物が釣れた！

大漁、大漁
♪今夜はご馳走だ(笑)

まだまだ釣るぞ

獲ったよー！

ケアサポートセンターひじりからの介護保険便り

市民フォーラム「人生の最後の段階をどう迎えますか」～もしも、のために話しておこう人生の最終段階における医療・ケアについて～の報告

H25年7月の宮崎市健康支援課の「在宅医療・終末期医療」の市民意識調査の結果については、「人生最後は自宅で療養したい」約7割であるが、実現困難と考える方が約6割、その理由としては、「家族の負担」、「急変時の不安」を述べられる人が44%有った。延命治療については、「どちらかという望まない」方を含め、8割近くが「望まない」と回答。

人生の最終段階における医療及びケアについては、医師等の医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされ、それに基づいて患者が医療従事者と話し合いを行い、患者本人による決定を基本として進めることが最も重要な原則である。ただ患者の意志が確認できないこともある。自分らしい人生の最後を迎えるために、自分の想いを元気な時に、家族と話し合っている方がいいかでしょうか。宮崎版エンディングノート「私の想いをつなぐノート」をいろいろな所で配布しております。1度見てみてはいかがでしょうか。